



friendship force
WESTERN TOKYO

西東京クラブ会報

No. 12

2010, December

エストニア受け入れ特集号



皇居前公園で、タリクラブの皆さんと



エストニアの FF タリクラブの受け入れ

ED 虫 明 陽 子

平成 22 年 10 月 23 日から 29 日まで、エストニア・タリンという馴染みの薄い国からの受入れでした。一週間共に過ごした印象は、大人しいが実は陽気・好奇心旺盛・新しい事に積極的(食物も含め)・純朴・辛抱強い & 健脚です。且つ、国旗が示す意味(特に白:自由・独立)に強い自負と誇りを抱く方々でした。

彼等の重い歴史(周辺国による侵略・統治、有名な《人間の鎖》運動後1991年に独立。ロシアとの軋轢も解消には及んでいない)によって培われた気質なのでしょうか。戦争を知らない、戦後の混乱すら知らない私は、ED 初仕事に汲々とし彼等の背景に思いを馳せる余裕はありませんでした。それでも毎日一緒に行動する時々に気付いた部分もあり、とにかく楽しんで欲しい、とそれだけを心掛けました。

彼等の楽しそうな笑顔と歓声は、純粹に心からのものであったと信じたいと思います。見送り時の沢山のハグ!! なんと優しい温もりだったことか。

東京の後、大阪に6泊し(フリーツアー)奈良・京都・姫路・高野山(宿坊体験)と彼等らしく意欲的に歩き回ったとの事。台風まで経験し、その後は台風一過晴天の下Tシャツで過ごせたが、帰国した時は雪が出迎えた・・・と連絡がありました。



ウェルカムパーティで会長のレアさん(左)、マレさん(右)

・関東ブロック会議開催報告

副会長 石井健二

FF 関東ブロック会議が去る7月24(土)午後、東京クラブ主催のもと慶応大学会議室で持たれ、当面する諸課題について活発に情報・意見を交換しました。



関東ブロック会議風景

出席者は、東京クラブ(渡辺会長ら)、埼玉クラブ(沼会長ら)、西東京クラブ(柳川会長ら)合わせ30名でした。議題1では余村本部理事から、スタッフのパートタイム勤務、事務所移転などによる経費の削減、FFI会費の値上げ、スイス、ノルウェーなど新クラブ立ち上げ、などにつき書面報告を頂きました。議題2では、FF交換以外の最近の活動を3クラブそれぞれから報告。議題3では交換に伴う課題、工夫で、共同渡航や個人参加におけるED特典の扱い、渡航条件、所属クラブ会長への事前報告などについて意見が一致しました。次回の会合は約1年後埼玉クラブ担当で開催予定です。会議終了後は、東京クラブ会員さんも加わり、立食を楽しみつつ和やかに懇談しました。

・ワシントン世界大会に参加して

フィールドレップ・コーディネータ 石井嗣代

10月15日より開催だった世界大会は、2年ぶりで、アメリカの首都と言う場所もあって約30の国々から500名の会員が集まり、大変にぎやかに行われました。新しくクラブができたアルバニアとモロッコの代表者が全大会で挨拶をしましたが、ともに40台の方々とFFの将来が明るく見えたことでした。それぞれのワークショップで盛んに討議した後のパーティは、今まで交換のあったところなどのお土産の衣裳か民族衣装と言うテーマでしたので、着物姿の日本の参加者も多く、またハッピーや半纏、鉢巻などをした方々も多くお見受けしました。閉会式では今年から初めて施行されるウエイン・スミス・メダルを日本の愛知和男名誉顧問が長年の貢献を感謝されて受賞されました。もう一人は国連大使やアトランタ市長を勤められたアンドリュー・ヤングさんです。最後にハンブルグの代表が来年は8月26日から世界大会をしますので皆さん来て下さいとご招待があり閉幕しました。



世界大会で愛知和男名誉顧問の受賞



特集:タリンクラブ受け入れ

1)7回目の受け入れ

稲葉太郎

我家は今回7度目の受け入れホスト役をつとめさせていただきました。今回のお客様はエネさんとキュッリさんという共に50歳代の女性お二人で、とても元気な方たちでした。今回のメンバー構成の15名中14名が女性だったので理由をお聞きしたら、エストニアでは女性の多くが仕事を持っていて夫婦二人で旅行すると費用もかさむのでご主人はお留守番とのことでした。



お好み焼き屋でエネさん(左)とキュツリさん(右)

お二人とも今の日本と古い日本、両方の文化や歴史に関心が強く、彼女たちの強い希望で、都内観光の1日を快晴の東京タワー展望台や銀座のデパ地下にお連れしたらとても喜んで下さいました。さらに温泉に入りたいということで露天風呂付きのスーパー銭湯にもご案内しました。買い物も町田の巨大百円ショップやユニクロがお気に入りのようでした。驚いたのは和食のすべてを刺身や寿司もわさび入りでOKで本当に美味しそうにペロリと平らげてくれたことです。中でもしゃぶしゃぶが特にお気に入り、大根おろし入りのつゆにパンを浸けて食べたのにはびっくり！色々な意味で今回、エストニアという国の人々がいかに周囲の外圧から耐えて暮らしてきたかということをおぼせていただきました。

2)タリンクラブ受け入れ体験談

大倉麻子



家族と一緒にマイエさん、レイリンデさん(右)

当初エストニアという国がどこにあるかも知らなかったのですが、言葉は？食事は？とドキドキしていましたが、アンバサダーの方々はとてもフレンドリーで直ぐに打ち解けることが出来ました。お互いに外国

語を話していたのであまり深くは相互理解できていないと思うのですが、それでも身振り手振りを交え、写真を見せ合ったりしながらお互いの国の習慣、食べ物、家族のことなどたくさん話をしました。自由行動の日には子供の通う小学校の授業参観、給食見学(配膳・食事中的の見学)をしました。学校側からも割とオープンに許可を頂け、いろんな学年の授業の見学や、理科室・図書室・体育館などあちこち写真を撮っていました。給食と一緒に食べられたらもっとよかったのですが…残念でした。それでも学校見学はとても面白かったと言って頂けました。子供にとってもとても良い体験ができたと思います。今後も色々な国の方々に会えるのを楽しみにしています。

3)初めての受け入れ体験談

福島淑子



江ノ島神社にて

来日初日はアンバサダーのマイアさんはキャリアケース破損で、気分は下向きのまま我家へ。代用品を差し上げてもうかぬ顔、よほどショックだったのでしょうか。でも旅の疲れにはもってこいのお酒を主人と二人で。そして気分のほぐれたところで、「おやすみなさい」。
2 日目は、9 時からチャイナタウンへ。早朝な為、人出も少なく「different」を何度も。午後のお茶会は「楽しみましたか？」に、「Yes、よかった！」。
3 日目の箱根帰りのアクシデントは何が何だか理解できず、不安だったらしく、私の顔を見るなりハグ。マイアさんは感情が強い方と見えました。
4 日目は1泊予定の伊東行きを日帰りに変更。昭和 3 年創業後、現在は伊東市管理の東海館見学。当時をゆっくり偲んだ後は、安くておいしい「はますし」へ。沢山の魚貝の名前はついに「A kind of fish, A kind of shellfish」になりました。帰りには富士山を見せたいと

いう夫の発案で箱根へ。でもシャイな富士山の顔見せはちょっぴり。満足したかしらマイアさん。

5日目は早朝8時出発で江ノ島へ、ほぼ島一周。階段坂道と夫のペースで歩くのには大変だったのでしょう、汗びっしょりでした。鎌倉の長谷寺から待望の大仏で



感激の様子。八幡宮から暗くなりだしていたのに、建長寺の烏天狗が見せたくて、又々夫のペースで歩き回り、さぞかし疲れたことでしょう。6日目は朝雨が降っていたものの、マイアさんの希望もあって、明治神宮へ。人気の少ない神宮をのんびり歩きながら、「人がいなくて良かったね」と二人でにっこり。原宿の竹下通りは雨がひどくなって来たので、パスして帰宅。結婚式の打ち掛けを着て写真撮影。夕食後夫も手伝って荷作り。これで全て終了。エストニアの様子もいろいろ知る事ができ、楽しんだ一週間でした。ありがとうございました。

4)お茶と着付けの日本文化体験

白谷裕子



アイニさんの手慣れた？習字体験

俄仕立ての茶会でエストニアの方々にどれくらいお茶の事を理解して頂けるだろうかと不安はありました。でも皆様、日本の文化を勉強していらしたらしく一生懸命ご覧になりお聞きになって良い雰囲気の中でスタート致しました。

メンバーの裏千家の竹ノ内さんと茶歴も長く英語も堪能なお隣の中西薫さんに応援をお願いして本当に助かりました。お茶とはお茶事の事で一般的に目にするお茶会や日常のお稽古はその中の一部なのですとかを中西さんにお話して頂きました。

分らなくともまず五感で楽しんで頂けたら嬉しいなあと思っていました。お茶も普通どおりの濃さにお点てしましたが殆どの方が「少し苦いですね、だけど美味しい」と仰って綺麗に飲み干されました。一人で半東役やお運びして下さった竹ノ内さんはさぞお忙しかったと思います。



正座も苦しそうな茶道体験

畳の上での長い脚を皆、持て余されている様で気の毒でしたがそんな時、着物姿の Aini Harm と Tiina Munt が登場して皆、茶室もリビングも大興奮になりました。

初めてとは思えない程の着こなして本当にお二人とも美しかったです！着付けて下さったのは井上さん（お茶の生徒さん）外国の方にも着せ慣れていますから心強いです。彼女曰く「次回からはバスタオルの用意をお願いします」と。ホント凸凹が日本人と全く違いますねえ。お二人とも細身の方だったのですが。私は何枚かの着物や帯、小物を用意しておいて彼女達に自由に選んで頂きました。最初に聞かれたのは着物の「格」きつとあちらでもパーティが多いのでしょうか。選んだのはまさかと思っていた着物でした。だって私が20歳の時のものですから。

それが良く似合うのですから感激しました。畳に座る所作もお教えしないのに裾が乱れないようにスツと手を膝に入れて！本当に感服。もっと時間があつたら大勢の方に着て頂けたのにと残念でした。

兎にも角にも皆様が大変喜んでくださった事を伺って私の方が楽しませて頂いたのにと本当に感謝です。これこそ一座建立ですね。リビングの方で待ってる間にご自由にお抹茶を点てて飲んで頂けたらとお茶も和菓子も充分に用意していたのですが一声忘れ、失礼致しました。

西東京クラブの皆様、本当に有難うございました。



ティーナさん(真中)とアイニさん(右)の艶やかな晴れ姿

5)ウェルカムパーティ報告



高垣 孝

タリンクラブのウェルカムパーティは南町田駅のグランベリーモール裏手にある、サンボタマージュというレストランを貸し切って、立食形式で行いました。総勢 52 名の参加者がありましたが、会員以外の初参加者も6名あり、そのうち手島さんご夫妻は、偶然、稲葉さんがホストをされた Kulli Vollmer さんとお知り合いだったとのことでした。

両国歌演奏で厳かに始まりましたが、乾杯後は、皆さん打ち解けて、狭い会場が談笑の渦となりました。料理が比較的美味しかったことと、ワイン好きなエストニア人に、数名の会員から合計ワイン 11 本の差し入れもあり、飲む方も満足してもらえたようです。

特に余興は用意していなかったのですが、パーティも盛り上がり行く中で、エストニアの歌と日本の歌のエールの交換もありました。最後はエストニアのアンバサダーから「今度はエストニアに来てください」と日本語による招待の言葉もあり、楽しく幕を閉じました。

今まで、公民館等の町田市の施設で、パーティを行ってきましたが、今回初めて民間のレストランを使ってみました。やや狭いのとマイクが使えなかったのは難点でしたが、元々ベーカーリーなので、パンを始め、料理が美味しかったことと、ワインの持込みも格安の持込み料で認めてもらったので、会費も比較的安く抑えることができました。皆様のご協力に感謝したいと思います。

6)不運な箱根デイツアーについて



石田 充

予期しないことが連続する旅にありました。25 日小田急町田駅にアンバサダー15名は集合、デイホスト7名が付き添って9時過ぎの急行で元気よく出発。富士山は雲の中、一行の失望は大きかったと思います。大涌谷から不運の連続です。噴泉地の見学の後、利用したロープウエーは霧の中。その上、桃源台駅では観光船の欠航を知らされました。駅構内のレストランで昼食。山の上ホテル行きのバスがあったのはラッキーでした。ホテルのご好意により送迎バスで元箱根へ。芦ノ湖、杉並木、関所などを見ながら箱根町のバス停まで歩き、下山しました。不運は更に続きます。小田原駅で乗った急行は事故のため秦野駅でストップ、復旧の見込みなく乗車駅へ引き返し、

東海道線、藤沢駅経由で9時過ぎに町田駅に帰着しました。こんな旅をするのは極めて珍しいです。ご協力いただいたデイホストの皆様に感謝申し上げます。



霧で何も見えなかった大涌谷で全員集合

7)デイホスト(東京見物)報告

白谷 勇介/石井 健二

10月26日は今春予行したコースに従い、日比谷の出光美術館に集合し、伝統美術にふれて頂いた後(特別展示、『仙厓(せんがい)』禅とユーモア)、地下鉄で築地に移動、本願寺、場外市場を見物、昼食を摂りました。生鮮・加工の魚介類店が立ち並び、客寄せの掛け声が飛び交う魚市場は皆さん興味深い様子でした。その後浅草に移動、短い時間ながら仲見世通り・浅草寺など下町気分を味わって頂きました。翌27日は銀座、日本橋の目抜き通りを皆さん元気に歩いて、和風履物店、仏具店、漆器店、水産練り食品店などを訪れ、日本の生活文化を味わって頂きました。途中アンバサダーの一人を見失うハプニングもありましたが、両日とも好天に恵まれたことは幸いでした。参加者は初日14人(他デイホスト先導の白谷会員など4人)、2日目12人(同左5人)でした。グループでの移動のむづかしさ、昼食の摂り方など、今後のこの種の催しの課題も見つかり、以後の交換に生かしていけたらと思います。



銀座仏具店前で



新入会員プロフィール

今年の FF 西東京クラブ新入会員をご紹介します。

■ 八塚住子さん

今村さんの紹介で 4 月から入れていただきました八塚住子(やつづか すみこ)です。綾瀬ホームステイの会員でもあります。こちらはほとんど青少年の受け入ればかりですので、大人の方との交流や、自身の海外ホームステイを希望して入会しました。最初の渡航は、二十数年前の中国東北巡りでした。元気なうちに海外旅行をたくさんしたいと思っています。F・Fの集まりで、経験豊富な皆さまのお話を聞くのも楽しみです。

■ 植木すい子さん

この度お仲間に入れて頂いた植木すい子です。中央林間在住です。家族は現在、主人と娘と私の3人暮らしです。入会の動機は、沢山の国の方々とお話がしてみたいと予々希望を持っておりました所、以前この会の会員でいらした平出さんと偶々ご一緒する機会があり、紹介して頂きました。入会させて頂いた時から、皆様の暖かいお人柄に囲まれ、私にとってこの会はとても居心地の良い場所となっております。これからも宜しくお願い致します。

■ 稲垣朋子さん

今年 2010 年に入会させて頂きました稲垣朋子です。会員の加藤幸子さんとは高校時代からの親友で 50 年来のお付き合いをさせて頂いております。今年 5 月のスロバキア渡航のお誘いを受け、まだまだ両親の介護中でしたが、高齢の父を昨年見送りましたのを機に参加させて頂きました。初めての渡航が自然豊かな、人間味溢れる国で大変貴重な経験が出来ました事に感謝しております。受け入れも初めてで西東京クラブの皆様方の熱意と温かな心配りには本当に感動でした。会員の皆様のお人柄と和気あいの楽しい雰囲気魅了されております。異文化交流を体験して初めて解かる事が沢山あり、何事も新しい一歩が必要なのだと実感しております。自分の出来る範囲で楽しませて頂きたいと思いません。どうぞ宜しくお願い致します。

■ 福島淑子さん

入会後初のミーティング当日、入室とたん「大変場違いの所に来てしまった」と感じ、さてお隣さんはと、ちらっと見たら英語だらけのメモ？を読んでおいでの様子。「無理無理退会せねば」と思ったくせに

エストニアからのお客様受け入れに、さっと手を上げてしまったり、全く落ち着きのない新参者です。海外旅行大好きな人間で、来年のニューカレドニア行きに、もう胸わくわくです。迷惑おかけしていますが、どうぞよろしくご指導下さいませ。



FF 西東京ニュースコーナー

【2011 年の活動予定】

- ・2 月初め(日時、場所未定)
総会及び懇親会(追って詳細は事務局より連絡)
- ・4 月 8 日～16 日
ニューカレドニアのヌーメアクラブへ渡航
現在渡航希望者募集中。
連絡先: ED の石井嗣代さん
Tel: 044-852-5231
Email: tsuguyo-ishii@w8.dion.ne.jp
- ・7～8 月(予定)
関東ブロック会議(埼玉クラブ主催)
- ・8 月 26 日～28 日
世界大会(ハンブルグ)
- ・9 月 30 日～10 月 6 日
東ワシントンクラブ(米国北アイダホ州)受け入れ
連絡先: ED の今村佐知子さん
Tel: 0467-77-6172
Email: sachikoi@snow.dti2.ne.jp
- ・11 月 19、20 日
日本大会(太田群馬クラブ主催)

【編集後記】

タリクラブ受け入れの皆さんの原稿を読み、いろいろハプニングや不運もあったようですが、それぞれ思い思いの貴重な体験をされたようで、あらためて FF 交換ならではの良さを感じたところです。2 年後にタリクラブから招待を受けた渡航が、実現されることを願いたいと思います。前回同様、ほぼ期日通りに原稿、写真をいただいた皆さんには、この場を借りて、厚く御礼申し上げます。1 年に 2 回の会報発行ペースも軌道に乗ってきました。来年は他の会員の方の力も借り、体裁、紙面の充実を図りたいと思います。では皆様よいお年をお迎え下さい。広報担当: 高垣 孝

編集発行: ザ・フレンドシップフォース・西東京

事務局: 東京都世田谷区上馬 2-37-12-701

柳川 善一

Tel & Fax: 03-3419-3018

e-mail: w-tokyo@friendshipforce.jp